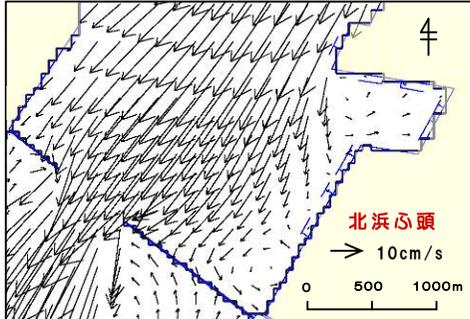
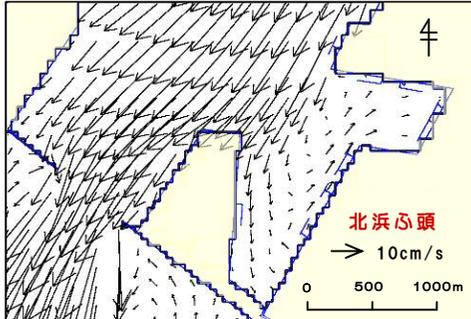
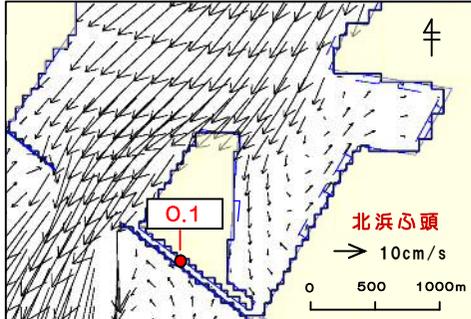
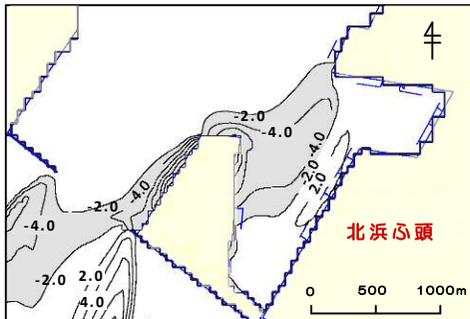
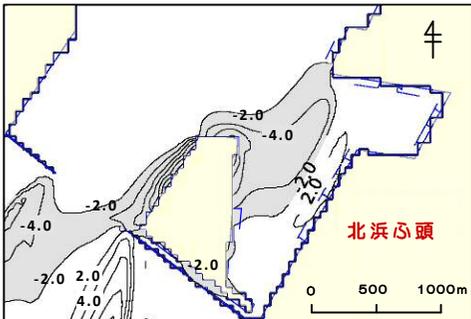
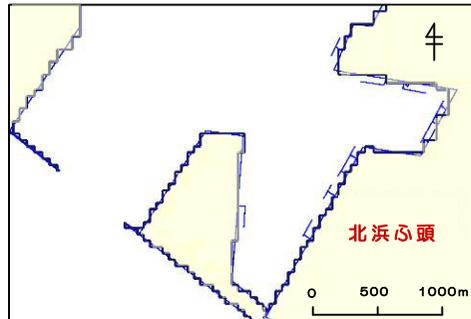


流況

数値シミュレーションによる流況の予測結果(夏季・平均流・表層(表1における層区分1))

名称	現況	A案	B案
予測結果	 <p>北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 主な流れは、高潮防波堤の開口部より湾口に向かっており、その一部は北浜ふ頭前面で渦状の流れを生じています。 	 <p>北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 湾口に向かう流れの一部が、北浜ふ頭前面に入り込み、北浜ふ頭護岸沿いを北上するような反時計回りの流れを生じています。 	 <p>北浜ふ頭 → 10cm/s 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 湾口に向かう流れの一部が、北浜ふ頭前面に入り込み、北浜ふ頭護岸沿いを北上するような反時計回りの流れを生じています。 • 水路内の流れは、ほとんどありません。

※ B案の数値は水路内の流速を示します。単位は cm/s、流れの向きは東航路側を指しています。

	A案 - 現況	B案 - 現況	B案 - A案
流速差	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 北浜ふ頭前面において、平均で 4cm/s 程度の流速低下域と平均で 2cm/s 程度の流速増加域がみられます。 	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 北浜ふ頭前面において、平均で 4cm/s 程度の流速低下域と平均で 2cm/s 程度の流速増加域がみられます。 	 <p>北浜ふ頭 0 500 1000m</p> <ul style="list-style-type: none"> • 流速差はみられません。

※ 灰色で着色した範囲は現況よりも流速が低下する範囲を示します。コンター線の間隔は 2cm/s です。

※ 高潮防波堤を横切る流れには減速域がみられ、この断面(東航路開口部)の流入・流出量はわずかに減少します。(補足資料参照)